Rotary 宮崎南週報
世界へのプレゼントになろう
K.R. ラビンドラン
2015-16 年度RI 会長

奉仕の心を行動に

宮崎南ロータリークラブ
会長　千葉百合子

第1867回例会　2016.3.14

会　長／千葉百合子　　幹　事／山崎栄一郎
副会長／丸山　一郎　　会　報／戸髙　勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／奉仕の理想
ロータリーの目的

オブザーバー
田中多賀子様
李　　美子様

会長挨拶　千葉百合子会長

会長エレクト研修セミナーペッツも３月５・６日と終わり野田会長エレクトもいよいよ次年度の始動体勢に入りました。

今年度あと４ヶ月、野中ガバナーはあと４ヶ月でだいたい終わったではなく、残り４ヶ月もうひと勝負の心意気が大事と言っています。

手探り状態の会長職ですが、このひと勝負が年度末退会防止につながると私も考えます。次年度にいい状態で野田会長エレクトにつなぎたい…。と思っております。

来週21日は少年少女球技大会。39年も続いている大会です。又、会員の出席も多く大変うれしく楽しみにしています。

いろいろ行事も重なり残っております。会員の皆さん御協力を重ねてお願いいたします。

出席委員会報告　重松芳文委員長

●出席状況

本日状況	
会員数	(37) 40名
本日欠席者数	16名
本日出席者数	24名
出席率	64.86%

前々回状況	
会員数	(38) 40名
ホームクラブ出席者数	32名
メークアップ数	2名
修正出席者数	34名
修正出席率	89.47%

●前々回メークアップされた方／松田安典会員、松本佳士会員

ニコニコBOX　1件　0円　累計146,116円

募金箱　4,187円　累計110,879円

幹事報告　山崎栄一郎幹事

・エコキャップのお知らせ
今回受領個数　3,053個
累計個数　　103,931個

・3月5～6日に行われましたクラブ会長エレクト研修セミナーの御礼が届いております。

・第2730地区拡大・増強部門なでしこ2730委員会より、東北被災地訪問募集のご案内
５月９～11日　岩手県陸前高田市

委員会報告

親睦委員会より

・3月28日（月）は観桜会になっておりますので多くの参加をお願い致します。

青少年奉仕委員会　渡邊将史委員長

・3月21日（月）は少年少女球技サッカー大会を行います。７時15分に集合。宮崎県総合運動公園運動広場。

Rotary ロータリー情報　会長エレクトの任務（クラブ）（Duties of Club President-elect）

クラブ会長エレクトの任務は以下の通りである。
・「クラブ会長要覧」を読み、会長エレクト研修セミナー（PETS）に備える。
・クラブの理事を務め、会長または理事会が定めた責務を遂行する。
・「効果的なクラブ」の要素を指針として、クラブの戦略計画を検討する。
・「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」を用いて、クラブの長期目標の達成に向けた年次目標を立てる。

その他

ご縁の価値

パストガバナー
大迫三郎会員

南クラブに入会して40年。お陰様でここまで事業を継続し、従業員、お客様は勿論、地域社会へいささかお役に立って参りました。

ロータリー会員として職業を通じて奉仕する倫理を学ぶ事が出来、実践する事が出来た結果だと思います。南クラブへのご縁を戴いた事へ感謝しますとともに人間がつなぐめぐり合わせのご縁の価値が如何に大事なものであるかを改めて感じるこの頃です。

本日のプログラム
会員卓話

景気動向調査

松本佳士会員

3月に宮崎市中心街の宮崎山形屋、ボンベルタ橘、カリーノ宮崎の3商業施設にてアンケート実施しました。その設問と回答を紹介し、景気動向調査の結果をお知らせします。

設問１．１年前と比べた現在の景気

変わらない　56.9%　　悪くなった　24.9%

良くなった　18.2%

悪くなったが、良くなったを上回っており、全国では景気回復基調にあるも本県では回復の実感に乏しことがいえる。景気が良くなると感じる理由は理由の第1位は雇用環境が良くなる。逆に悪くなると感じる理由は物価が上昇する等となっている。雇用改善に期待する反面、物価上昇や定例収入の減少を懸念する様子がうかがえる。

設問２．買い物の動向

良く利用する商業施設は、イオンモールが52.6%で第1位。次いで山形屋、ボンベルタ橘の順であった。商業施設に行く理由は「品揃えが豊富」が圧倒的に多く、次いで「価格が納得できる」「駐車場が広い・使いやすい」等となっている。

設問３．宮崎市中心市街地について

中心市街地の“行きつけの店の有無”は全体で「ない（53.9%）」「ある（46.1%）」を上回り「ある」が上回ったのは10代、60代、70代以上となった。中心市街地に今後必要なものは全体で「駐車場」「活気」の順となった。駐車場については現在の中心市街地にはコインパーキングも多く受入余裕はあると考えられるが、不足感が根強いのは郊外型商業施設のように一般的な無料駐車場が無いことを指していると考えられる。「レストランカフェの出店増加」や「老朽化した店舗の改築」なども上位となったものの回答率が低く関心の薄さが目立つ結果となった。移動手段としては「マイカー」「自転車」「徒歩」の順となっており「徒歩」は前回比大幅増加した。中心街近郊のマンション建設が一因と考えられる。中心街を訪れた目的は「買い物（51%）」がと圧倒的に多く、2番目の「食事（22.4%）」と大差が開いた。買い物の中身は「ファッション関連衣類（23.7%）」が最も多く「雑貨・日用品（20.4%）」「生鮮食料品（19.4%）」と続いた。滞在時間（平日）は平均で141分となり、最も長いのは20代であった。支出金額の平均は6,706円となり60代が14,873円と一番多くなっている。

設問４．宮崎市中心市街地での勤務について

中心市街地での勤務希望については、60%が働きたいと回答。特に20代と30代が80%を超す回答である。中心市街地で仕事をする上で必要なものは「駐車場（45%）」と最も多く、次いで「公共交通機関のアクセス改善」となり、アクセス向上を求める回答が上位を占めた。

設問５．地方創生に期待するもの

人口の急減、高齢化に対し、地方が特徴を活かし自律的で持続的な社会の創生を目指す「地方創生」の取組みについて期待するものは「医療福祉の充実（45.4%）」が最も多く「雇用確保・雇用の場の創出（30.1%）」「子育て支援の充実（28.3%）」が続いた。特に20代に最も多い雇用の場の創出としての宮崎市中心市街地への期待が大きい。その理由としては「仕事の環境が整っている」「実家が近い」等であり仕事そのものの魅力が強い訳ではないと考えられる。

設問６．まとめ（今回の調査は２回目）

昨年の第1回調査以降、景気回復の実感は薄く「景気が悪くなった」という回答者が僅かに増加した。若者を中心に今後1年間の景気回復への期待は高い。一方物価上昇が景気に悪影響があるとの懸念も強い。買い物動向では品揃えが豊富な大型商業施設に比べて中心市街地への回答率は低く買い物先としては関心の薄さがうかがえる反面、勤務エリアとしての人気は高い。地方創生として「医療福祉の充実」「少子化対策」等に期待は集まるもののまちづくりへの期待は必ずしも高くない。地方創生においては明確、具体的なプロセス、展望が必要であり早期に示されることが期待される。